

2026 年 2 月 5 日

看護師受験対策講座 受講生 各位

看護師受験対策講座 事務局

2025 年度 看護師受験対策講座 直前対策課程 第 6 回の教材において、下記の通り誤りがございました。お詫びの上、謹んで訂正させていただきます。

午前 問題 記載のない選択肢については、訂正はありません。

問題 9 0 (問題文の訂正)

誤 … 「20 mg/dL」 …

正 … 「20 mg/2mL」 …

午前 問題の訂正は以上(午後 問題の訂正は別紙 または 裏面)

午後 問題 記載のない選択肢については、訂正はありません。

問題 1 (選択肢 3 の訂正)

誤 3. 30～24 歳

正 3. 30～34 歳

問題 3 3 (問題文の訂正)

誤 慢性心不全で…(以下省略)

正 慢性腎不全で…(以下省略)

お願い

『解答・解説』冊子に掲載の問題文も同様に訂正をお願いします。

問題 4 2 (選択肢 3 の訂正)

誤 3. 退院時に診療力を訪問看護師に渡す。

正 3. 退院時に診療録を訪問看護師に渡す。

午後 問題の訂正は以上(午前 解答・解説の訂正は別紙)

午前 解答・解説(1)

1 ページ目 解答一覧 問題 50

誤 正答 2

正 正答 1

1 ページ目 解答一覧 問題 116

誤 正答 2、5

正 正答 2、4

問題 3 4 (問題文を問題冊子に記載の問題に差し替え および 解説文の差し替え、正答に変更なし)

3 4. 甲状腺機能亢進症の症状はどれか。

1. 眉弓部の膨隆

2. 眼瞼下垂

3. テタニー

4. 動悸

5. 便秘

正答 4

1. × 眉弓部の膨隆は先端巨大症で見られる。

2. × 眼瞼下垂は重症筋無力症で見られる。

3. × テタニーは、副甲状腺の機能が低下し低カルシウム血症を起こしたときに生じる筋肉の有痛性のけいれんである。

4. ○ 甲状腺機能亢進症では、甲状腺ホルモンが高値になり動悸が起こる。

5. × 甲状腺機能亢進症では、甲状腺ホルモンが高値になり下痢が起こる。

(次ページ または 裏面に続きます)

午前 解答・解説(2)

問題 5 0 (問題文を問題冊子に記載の問題に差し替え および 解説文の差し替え、正答に変更あり)

5 0. 四肢に障害が無い患者を仰臥位から側臥位に体位変換するときの姿勢を図に示す。

適切なのはどれか。



正答 1

1. ○ 膝を立てて両腕を胸の前で組むことで支持基底面積を小さくしている。さらに、足関節を殿部に近づけることでトルクの原理を活用でき、より小さい力で患者を側臥位にすることができる。
2. × 膝を立てているが、足関節が殿部から離れているため、トルクの原理を活用できていない。さらに、両腕がベッドに接しているため支持基底面積が大きくなっている。
3. × 足関節を殿部に近づけることでトルクの原理を活用しより小さい力で患者を側臥位にすることができる。しかし、両腕がベッドに接しており支持基底面積が大きくなっている。
4. × 両腕を胸の前で組んでいるが膝を立てていないため、十分に支持基底面積を小さくできていない。さらに、膝を立てていないためにトルクの原理を活用できず、患者を回転させるためにより大きな力が必要な体位となっている。

(次ページ または 裏面に続きます)

午前 解答・解説(3)

問題 1 1 6 (正答の変更、解説文に記載の選択肢 4 と 5 の○×表記の訂正、
解説文に訂正なし)

誤 正答 2、5

正 正答 2、4

誤

4. × 生後 3 日目のバイタルサインは…(以下省略)

5. ○ 生後 3 日目に顔面、…(以下省略)

正

4. ○ 生後 3 日目のバイタルサインは…(以下省略)

5. × 生後 3 日目に顔面、…(以下省略)

午前 解答・解説の訂正は以上(午後 解答・解説の訂正はありません)